

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年10月1日				
運動発達支援スタジオ笑みりい〜深井						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	必要な広さを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		規定の人数配置を満たしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		訓練室はフラットな空間です。視覚支援（絵カードやイラストの活用など）も取り入れています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	プログラム終了ごとに床の清掃、消毒を行っています。	玄関や玄関前の掃除も定期的に行っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	相談室を何もない状態にして使用できるようにしています。	個別の部屋の使い方について、再度職員間で確認します。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		事業所全体で振り返りや目標設定の話し合いを行なっている。全員が意見を出し合えるような工夫した話し合いをしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		いただいたご意見を参考にさせていただき、業務改善に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		終礼や支援会議など職員で話をする機会をとって、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	送迎時の園の先生からの情報を業務（支援）につなげています。	第三者による外部評価は行なっていません。今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		月1回程度ZOOMでつないで、事業所全体で研修を行なっています。外部研修にも参加しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		支援プログラムを作成しホームページで公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		作成時に保護者様と面談を行ない、ニーズや課題が反映されるように努めています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		日々の活動の中でどんな支援が必要か、課題は何かを共有し確認しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援計画を個人ファイルの見やすい所にはさんでいつでも確認できるようにし、それを確認しながら支援にあたっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		公式な様式を使ったアセスメントや状況に応じたアセスメントも行ない支援にあたっています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		発達支援（5領域）、家族支援、移行支援及び地域支援の項目を設定し、支援内容を記載しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		定期的にチームでプログラムを考えています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		職員が個々にプログラムを考えて持ち寄ったり、他事業所とプログラム内容の共有をして固定化しないようにしています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		職員間で利用児の状況を共有し、個別的な活動にも力を入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼後にその日の支援内容や役割分担を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		毎日終礼時に、支援の振り返りを行ない共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援内容を必ず記録し、日誌にも記載することで次回ご利用時の支援につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的にモニタリングを行ない、お子さまの現状や支援内容を話し合って計画の見直しを行なっています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		サービス担当者会議には基本的に児発管が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		関係機関と連携がとれるように心がけています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	園送迎時に事業所での様子をお伝えしています。サービス担当者会議で情報共有をしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	保護者様から要望があった時には対応しています。	移行の際にはあまり共有できていないので、必要に応じて情報共有していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	7	1	堺市障害児通所支援事業者育成事業で、事業所に来ていただきスーパーバイズをうけています。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		保育園や幼稚園との交流はありません。交流を望まない保護者さんもおられますので、内容を含め検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		支援の終わりや送迎時に活動の様子をお伝えし、お家での様子も聞かせていただいています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		事業所内でのペアレントトレーニングや研修等は行なえていないので、保護者様に向けた研修等も取り入れていきたいと考えています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明させていただいています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		支援計画更新時の面談や普段のお話から、お子さまや保護者様の意向を確認し、計画書に反映させていただいています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		支援計画書には同意のうえ、署名をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		定期的な面談に加え、相談ごとがある時は随時相談や助言を行なっています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		保護者会を年に1回開催しています。笑みりいへの他事業所との合同イベントに兄弟児さんにも参加の声かけをさせていただいています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		迅速な対応を心がけています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		ホームページでのブログ、Instagram等で活動の様子をお伝えしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		厳重に管理させていただいております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		分かりやすい言葉や絵カード・写真などの視覚支援を活用しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7		今後、地域交流が持てるようなイベントの開催を検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各種マニュアルを策定しております。保護者様には契約時、職員へは社内研修で周知し訓練も実施しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPを策定し、年に2回避難訓練を実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		体験時や契約時に確認しています。	再度、全員で確認します。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	イベントプログラムでクッキングを実施する際は、保護者さんに確認しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を作成して、月に1回安全点検を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		お子さまが安全に活動できるよう、ご家族様への共有を行っております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		事例が発生した場合は作成し、職員間で共有しています。	小さな事例も共有して、再発防止に取り組んでいます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		定期的に研修を行ない、職員の意識を高めています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		身体拘束のマニュアルをもとに、必要に応じて保護者様に相談後、個別支援計画書に記載します。現時点で必要とする児童はいません。	